

# 日本医療マネジメント学会 クリティカルパス ～実践セミナーin下関



看護師  
みやぎ あきみ  
宮城 陽永



クリティカルパス(以下パス)とは、特定の疾患・手術・検査ごとに、目標に向け最適と考えられる医療の提供内容をスケジュール表にした**治療計画書**をいいます。入院中に受ける検査や治療の**予定が分かる**、あらかじめ退院日が分かる事により退院後の予定が立てられる等の利点があり、患者様に大変喜ばれています。

## 北海道から 鹿児島まで 全国から98名参加

2月2日・3日に当センターで日本医療マネジメント学会主催 2012年度クリティカルパス実践セミナーin下関—電子化を前提としたクリティカルパスの作成とバリエーション分析—が開催されました。



当センターのホールが一杯に

北海道から鹿児島まで**全国から98名**の参加があり、当センターの研修ホールは熱気に包まれた2日間になりました。

セミナー1 日目は、国立病院機構熊本医療センター副院長**野村一俊先生**よりパスの概要と熊本医療センターで実際に行われているパスに関する院内の取り組みについて講演をいただきました。



野村 一俊先生



グループワークで実践的なパスを練り上げる



講演に引き続いて、各 10 名程で**グループワーク**が行われ、実際に電子化パス作成ソフトを用いパスを作成していきました。所属している施設での医療の実際をもとに治療方針を組立て、各職種の目線でパス内容について議論し、導き出した内容をパスに盛り込む事が出来たのでとても充実した**グループワーク**となりました。

1 日目の最後には当センター循環器内科医長**大谷望先生**より「電子カルテ上でのクリティカルパスの問題点」をテーマに当センターで使用されている**電子カルテ上のパス**の実状について講演をいただきました。

2 日目は福井総合病院副院長**勝尾信一先生**より「バリエーションについて」をテーマに公演をいただきました。バリエーションとはパスの予定通りに経過出来なかった事項の事をいいます。講演ではバリエーションの集計方法や集計した情報を分析し評価した上で計画を見直しパスを改訂する一連の過程を学びました。



勝尾 信一先生

2 日目の最後には国際医療福祉大学大学院教授**武藤正樹先生**より「今、クリティカルパスに求められているもの」をテーマに、今年度見直される**医療計画**より考えられる今後のパスの課題等についての講演をいただきました。



武藤 正樹先生

今後のパス作成や改訂にいかし、より質の高い医療を患者様に提供出来る様  
努めていきたいと思ひます。

[Back](#)